

「ドンドン語ろう！ in 城南」 (平成30年7月5日 火の君文化センター) 開催 ご意見用紙提出分 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>1. 国道266号線渋滞に伴う市道のカーブミラー取替えについて 著町地区内市道（午前7時～8時）は進入禁止であるが、1日中多くの車が進入してくる。朝は小学生の登校時の事故、また、昼間は地区住民（高齢者等）の事故が大変心配される。 先般、警察に交通指導をお願いしたところ、すぐ対応してもらったが、これがないときは進入しており、防ぎようがない状況である。 地区住民としては渋滞しないような対策をとってもらうことが一番であるが、すぐには難しいと思われる。 市道角のカーブミラーは今も付いているが、大きな新しいミラーに取替えてほしい。</p>	<p>自治会長から要望箇所の位置図をいただき、該当2箇所について現地確認を行い、鏡面取替え1箇所、鏡面向きの修正1箇所の対応を行った。 鏡面取替え箇所については、仮の鏡面を設置したが、カーブミラーの支柱も交換する必要があるため、現在、修繕発注準備を行っている。</p>	都市建設局	西部土木センター城南地域整備室
	<p>1. 自治会活動に対する助成金について 大抵の方は、何かをするから助成金を出して欲しいと言ってこられると思うが、そのシステム審査をする際に、自力でやってきた実績のもと、「継続がどんなふうにも難しいので助けて欲しい」など、先ずは市民が自力でやることを掲げられたら如何だろうか。 舞原は、どんどや、桜祭り、夏祭りも住民参加率は低いが、自力で行っている。年々参加率も少しずつ増えている。熊本大震災の時も、ある程度自主防災クラブと協力してくれた住民で、いい感じの行動が出来た地区だと思っている。 先にお金を与える仕組みは、廃止するべきと思う。貴重な税金なので。</p>	<p>本市が自治会へ交付している主な補助金に、自治振興補助金があるが、これは町内にお住まいの世帯数などに応じて、町内自治活動及び地域住民への連絡調整といった、自治会の基礎的な活動を支援することを目的に助成しているもの。 そのような補助金がある一方で、地域自らが、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化を図ることを目的に企画提案した事業に対して、コミュニティづくり支援補助金で積極的な自治会等のまちづくり活動を支援している。このコミュニティ支援補助金については、申請団体全員が参加しプレゼンテーションを行ってもらっており、その有効性、必要性、継続性を審査の上、補助団体を決定しているところ。 このように地域の自主自立のまちづくりに向けた自治会活動をサポートするための補助金も用意しており、地域の実情に合わせて補助金を活用していただいていることをご理解いただきたい。</p>	南区役所	総務企画課
2	<p>2. 熊本地震後の会社に対する救済措置について 私は南区近見において零細企業を営んでいる。震災後、会社をたたもうか、どうしようか悩みつつ営業を細々続けていた。 今年やっと会社の経営が震災後、先細りしていくことに歯止めをかける企画ができ、商工会議所を通し国の復興支援を受ける手続きをした。 しかし、熊本市のり災証明書の発行期限が過ぎた理由のために、支援を受ける事が出来なかった。期限を設けることは必要だが、救済措置を設けないのはとても不満である。 市長が会の終わりに、国へ何度も足を運び、非常時に合わせた処置を行えと言って来られたお話を聞き、なぜ、おひざ元の熊本市の対応が非常時に合わせられないのか、未だに不満である。この件、改めて相談出来る部署はないだろうか。 国は支援する窓口を広げているのに、それにリンクしない地元自治体はあってはいけないのではないだろうか。</p>	<p>事業所等用のり災証明の申請については、平成29年3月末日をもって一旦締め切ったものの、平成30年5月末日までやむを得ない理由のある事業者の皆様からの申請は受け付けていた。 現在、新たな申請は受け付けていないが、既に調査結果が出ている建物等であって、病気怪我等により長期入院していた場合や遠隔地への避難を強いられていた場合等のやむを得ない理由により申請できなかった事業者の方については個別にご相談に応じることとしている。</p>	経済観光局	商業金融課

「ドンドン語ろう！ in 城南」 (平成30年7月5日 火の君文化センター) 開催 ご意見用紙提出分 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課																																
3	<p>1. 周遊バスの導入、バスの増便について 6歳、4歳、1歳の子育て中である。 城南町の交通の便を増やしてほしい。バスはあるが、便が少なく不便である。そして、子ども達だけでも利用しやすい城南・富合あたりをまわる周遊バスがほしい。 城南児童館を子どもが小学生にあがれば1人や友達と利用したいと言っているが、自転車では校区外のため行けない。児童館や城南町物産館(火の君マルシェ)、富合図書館などをもし乗り過ぎてもまたそこに戻るような周遊バスや環状線バスがあると、子どもも気軽に利用できて良いのではと思った。 JRも利用したいので、宇土駅や富合駅をまわるバスも便を増やしてほしい。</p>	<p>バス事業者においては、厳しい経営状況に加え、近年は乗務員不足が深刻な状況でもあることから、バス路線の増便や新設については簡単ではないと聞いているが、ご提案の路線も含め、より市民の皆様のニーズを反映したバス路線に変更していくことが重要であり、今後もバス事業者と協働でバス路線網の再編に取り組みたい。 また、城南児童館や火の君マルシェの近くを運行している既存のバスも、地域によっては乗り換えることでご利用いただくことも可能となっている。スムーズに乗換していただくため、バスの運行情報等を提供するバスロケーションシステムが平成31年4月稼働予定であり、ご活用いただきたい。</p>	都市建設局	交通政策課																																
	<p>1. 災害仮設住宅及び災害公営住宅の現状について</p> <p>(1) 災害仮設住宅(全戸数と入居状況は)みなし仮設はどうか。</p> <p>(2) 災害公営住宅の戸数、建設箇所、竣工時期について。 19戸は着手。80戸の予定はどうか。</p>	<p>(1) 平成30年7月31日時点で、</p> <ul style="list-style-type: none"> 借上型応急仮設住宅(みなし仮設) 10,498戸提供し、6229戸入居中 建設型応急仮設住宅(プレハブ仮設) 541戸整備し、374戸入居中 <p>(2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団地名</th> <th>戸数</th> <th>建設場所</th> <th>竣工時期(予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(仮称)舞原</td> <td>19戸</td> <td>火の君文化センター駐車場の一部</td> <td>平成31年3月</td> </tr> <tr> <td>(仮称)舞原第2</td> <td>60戸</td> <td>舞原仮設住宅近隣地</td> <td>平成31年3月</td> </tr> <tr> <td>(仮称)塚原</td> <td>20戸</td> <td>J A 熊本うき城南出張所隣接地</td> <td>平成31年3月</td> </tr> <tr> <td>(仮称)白藤</td> <td>76戸</td> <td>白藤団地内</td> <td>平成31年3月</td> </tr> <tr> <td>(仮称)大江</td> <td>19戸</td> <td>大江町本団地跡地の一部</td> <td>平成31年3月</td> </tr> <tr> <td>(仮称)秋津</td> <td>36戸</td> <td>秋津浄化センターの一部</td> <td>平成31年3月</td> </tr> <tr> <td>(仮称)南熊本</td> <td>80戸</td> <td>食肉センター跡地の一部</td> <td>平成31年12月</td> </tr> </tbody> </table>	団地名	戸数	建設場所	竣工時期(予定)	(仮称)舞原	19戸	火の君文化センター駐車場の一部	平成31年3月	(仮称)舞原第2	60戸	舞原仮設住宅近隣地	平成31年3月	(仮称)塚原	20戸	J A 熊本うき城南出張所隣接地	平成31年3月	(仮称)白藤	76戸	白藤団地内	平成31年3月	(仮称)大江	19戸	大江町本団地跡地の一部	平成31年3月	(仮称)秋津	36戸	秋津浄化センターの一部	平成31年3月	(仮称)南熊本	80戸	食肉センター跡地の一部	平成31年12月	都市建設局	震災住宅支援課
団地名	戸数	建設場所	竣工時期(予定)																																	
(仮称)舞原	19戸	火の君文化センター駐車場の一部	平成31年3月																																	
(仮称)舞原第2	60戸	舞原仮設住宅近隣地	平成31年3月																																	
(仮称)塚原	20戸	J A 熊本うき城南出張所隣接地	平成31年3月																																	
(仮称)白藤	76戸	白藤団地内	平成31年3月																																	
(仮称)大江	19戸	大江町本団地跡地の一部	平成31年3月																																	
(仮称)秋津	36戸	秋津浄化センターの一部	平成31年3月																																	
(仮称)南熊本	80戸	食肉センター跡地の一部	平成31年12月																																	
	<p>2. 公共施設の復旧状況について</p> <p>(1) 新体育館入口及び周辺</p> <p>(2) 下益城城南中学校の体育館の雨漏りについて (中学校体育館は、総合型スポーツクラブで使用させてもらっている。)</p> <p>(3) B&G体育館及びプール立入禁止で草はのび放題</p>	<p>【スポーツ振興課】</p> <p>(1) 城南総合スポーツセンターは熊本地震により地盤が大きく落ち、体育館は地下の硬い地盤に基礎杭を打ってあることから落ちず、体育館と周辺に段差が生じた。このため、平成29年度の復旧工事において、障がい者駐車場からの動線にあたる箇所など、利用に影響する箇所についての擦り付け工事を完了した。体育館正面玄関の段差については、平成30年度の体育館復旧工事において、擦り付け工事を行う予定である。</p> <p>(2) 体育館の屋根の調査を行い、原因と考えられる屋根ガラリ部分の改修工事を行った。その後、また雨漏りが確認されたため、改めて調査し修繕する予定である。</p> <p>(3) プールについては除草を行いたいと思うが、体育館周辺は地震被害により、外壁が落下する恐れがあるなど非常に危険な状態であることから立ち入りを禁止しており、除草などができない状態となっている。このため、今後安全が確認できた段階で除草をさせていただきたい。</p> <p>【施設課】</p>	<p>経済観光局</p> <p>教育委員会</p>	<p>スポーツ振興課</p> <p>施設課</p>																																

「ドンドン語ろう！ in 城南」 (平成30年7月5日 火の君文化センター) 開催 ご意見用紙提出分 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>3. 新市基本計画（全項目）の進捗状況について 新市基本計画（P31）H21年からH30年（今年）の10年間で211億円の投資。前市長は、必ず守ると約束されている。</p>	<p>【地域政策課】 城南地域においては、これまで図書館・児童館、総合スポーツセンター、スマートインターチェンジの整備などが完了しており、事業費ベースによる進捗率は、平成30年度当初予算までで約94%となっている。 熊本地震による影響や事業区域に関する協議・調整に時間を要していること等により一部事業に進捗の遅れがみられるが、そのような事業についても、各々の状況を見極めながら、着実に取り組んでまいりたい。</p> <p>【計画調整課】 ＜新市基本計画に基づく上水道整備の事業費＞ 城南町の新市基本計画における上水道整備の想定事業費約60億円に対して、平成29年度末までの投資額は約55.8億円、進捗率93%となっている。平成30年度も約9.1億円を予算計上しており、平成30年度末をもって100%上回る見込みである。 ＜上水道整備率＞ 城南町における上水道未普及解消事業は、平成35年度整備完了を目標に順調に整備を進めている。平成29年度末までの進捗率は約60%であり、平成30年度末をもって約73%となる見込みである。今後も平成35年度の整備完了に向け継続して整備推進していく。</p> <p>【城南地域整備室】 路線毎に見ると用地買収や関係機関との協議などに時間を要するなどにより整備時期を調整している路線もあるものの、事業費ベースでは概ね順調に推移している。 今後も計画的かつ着実な事業推進を図ってまいる。</p>	<p>市民局</p> <p>上下水道局</p> <p>都市建設局</p>	<p>地域政策課</p> <p>計画調整課</p> <p>城南地域整備室</p>
4	<p>4. スポーツフェスタの見直しについて その経緯と概要について。各クラブ、協会等の参加は？ 例年だと、市主催のイベントで施設、付属設備使用料の免除だった。見直しによって次年度からは休止せざるを得なくなった（15回続いたアクアスロン大会）。</p>	<p>本市のスポーツ分野の施策として、コンベンション効果の大きな熊本城マラソンや熊本市体育協会を通じた競技団体への競技力向上や普及に係る助成を行っている中で、スポーツフェスタについて、より費用対効果の大きい実施方法を検討することとした。そこで、平成29年度にスポーツフェスタ実行委員会の中に、体育協会やスポーツ推進員、学識者等で組織する「平成30年度以降のスポーツフェスタについて検討する小委員会」を設置し、実施方法について検討を行った。</p> <p>その中で、</p> <p>①平成21年度をピークに参加者数が減少傾向にあること。 ②校区対抗戦においては、参加者を集めることに苦慮し、参加できない校区が多数あったこと。 ③競技によっては、チャンピオンシップ的要素が高く、気軽に参加することが難しくなってきたこと。</p> <p>等の問題が提起され、それらを解消し、本来の目的である子供から高齢者まで市民誰もが気軽に参加出来るスポーツフェスタへの検証を行った。</p> <p>その結果、校区対抗戦を区の特性を活かし誰もが気軽に参加できる「区民フェスタ」に移行すること、さらに、競技としての特殊性が高く、広く市民が参加することが難しい競技については種目縮小を行った。</p> <p>アクアスロン競技については、競技としての特殊性が高く、市民誰もが気軽に参加できるスポーツフェスタの趣旨とは異なるため、今年から共催を見送ったことをご理解いただきたい。</p>	<p>経済観光局</p>	<p>スポーツ振興課</p>

「ドンドン語ろう！ in 城南」 (平成30年7月5日 火の君文化センター) 開催 ご意見用紙提出分 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
5.	<p>(1) 国道266号線の慢性的な渋滞について市の考えはどうか。</p> <p>(2) 小川～嘉島線の考えは。 「市長政策集」 (=大西市長のマニフェストのこと) ※P8 (2) 渋滞の汚名返上の為には、交通インフラの整備を図るとしているが。</p> <p>(3) 新市基本計画 (P13) には、新市南部の拠点にふさわしいまちづくりの取り組みとして、アクセス道路の整備、小川嘉島線の整備促進などをあげているが。</p>	<p>(1) 国道266号の渋滞は本市にとっても重要な課題と認識しており、熊本県と連携し、交通分散や交差点改良などの対策検討に取り組んでいるところである。</p> <p>(2) 新たに橋梁を架け、また著町橋の車線を増設するなどの対策には課題があり早期には困難であることから、まずは早期にできる対策に取り組む必要があると考えており、本市では県道宇土甲佐線のバイパスや城南スマートインターチェンジを整備し、また熊本県では、交差点改良に向け、著町橋の北側交差点の交差点改良を進めているところである。 熊本地震により現在工事が進められている田口橋や府領第一橋は通行止めとなっており、従前の交通状況に戻っていない状況のため、工事完了後は改善が期待される。</p> <p>(3) 県道小川嘉島線の整備については、緑川に架かる橋梁を含む整備が必要であることから、整備の必要性を含め県と勉強会を行うなど検討を進めているところである。</p>	都市建設局	道路整備課
6.	<p>防犯灯の設置について 国道266号線、消防署からすぎかみ保育園間 (約200m) に防犯灯の設置を望む。 道路の両面が切取りで、夜は真黒になる。歩道には通学通勤、歩行者等多くの人が行き交う。「市長政策集」 (=大西市長のマニフェストのこと) ※P6 (1) - 2 には、身近な防犯防災対策の強化を図るとしているが。</p>	<p>防犯灯は、防犯及び歩行者の安全な通行を図ることを目的としたものであり、自治会が設置及び維持管理することになっている。設置については自治会で判断できるが、費用負担も自治会となる。設置・維持管理ともに補助金があるが、設置については南署の防犯協会、維持管理については南区役所総務企画課となる。 ご要望の区間は、道路照明灯の設置基準 (25000台/日以上) に合致しないため、防犯灯の設置に係る一連の対応を西部土木センター道路課にて行ったもの。対応内容は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要望者、自治会長、西部土木センター道路課、城南地域整備室、南区城南まちづくりセンターにて現地立会を行い、合わせて、防犯灯の設置及び維持に関する補助制度等の説明を行った。 ・ 西部土木センター道路課と九州電力で現地立会を行い、電気の引き込みが可能な箇所の確認を行った。 ・ 要望者及び自治会長に電気の引き込みが可能な箇所の情報提供を行い、再度、防犯灯の設置及び維持に関する補助制度等の説明を行った。 <p>以上を基に、今後地元で防犯灯設置の検討を行うこととなった。</p>	都市建設局	西部土木センター道路課
7.	<p>ケアランポリンの普及、拡大について 火の君スポーツクラブは1年間「ケアランポリン健康教室」を実施。現在は25名の参加がある。市には提案はしてあると思うが、高齢者向けのケアランポリンの普及、拡大をお願いしたい。</p>	<p>本市は、「生涯スポーツ振興事業補助金」として、熊本市体育協会を通じて、ランポリン協会への助成を実施しており、これは普及に係る大会やスポーツ教室の開催経費も補助の対象としている。この助成を基に、ランポリン協会に対し、競技の普及、拡大について協力していく。</p>	経済観光局	スポーツ振興課